

経営探訪

秋田指月株式会社

羽後町から世界を動かす



秋田指月株式会社
〒012-1115
秋田県雄勝郡羽後町足田字南田35-2
TEL. 0183-62-1116
FAX. 0183-62-4593
https://akitashizuki.jp/

- 設立/1968年
- 資本金/3億円
- 従業員数/364名
- 業務内容/自動車用、産業用、電子機器用各種フィルムコンデンサの開発および製造

工場長
松倉 俊一
まつくら しゅんいち

MANAGEMENT REPORT

最先端技術を陰で支える力

私たちの身の回りのあらゆる電子機器に搭載されているコンデンサ。電気を蓄え放電する基本の電子部品であり、電子回路や電源回路、電源そのものなど、幅広い用途に使用されている。

「普段目に触れるものではないので実感がわかないかも知れませんが、コンデンサは電化製品にとってはなくてはならない部品です。一般家庭で使用されている家電製品のおよそ8割、家庭用換気扇においてはほぼ10割に当社のコンデンサが使われています」と語るのは、秋田指月株式会社の工場長である松倉俊一氏。

同社は、コンデンサ開発製造の国内メーカーの草分けである株式会社指月電機製作所(兵庫県)の秋田県における生産・研究開発拠点だ。1968年、家庭用テレビの普及を見越した生産拡大のため、羽後町の誘致企業の第一号として設立された。順調に規模を拡大し、2006年に研究開発棟、2014年にはクリーンルーム化に対応した第4工場を新設。圧倒的シェアを持つ電化製品用コンデンサの他、EV(電気自動車)やHEV(ハイブリッド自動車)、PHEV(プラグイン・ハイブリッド自動車)などの自動車用コンデンサ、自然エネルギーなどの電力変換用コンデンサ・省エネ用コン

デンサと、時代が求める分野を先取りしながら幅広い事業領域を展開する。

中でも現在、重点的に取り組んでいるのが、自動車の電子制御化が進むなかで求められる、より高性能な自動車機器用コンデンサの開発だ。

将来の世界的な電気自動車の需要増加を見据え、2016年、指月電機と村田製作所の合併会社である株式会社村田指月FCソリューションズを羽後町に設立。両社の技術力を融合し、電気自動車向けに高耐熱でより小型のフィルムコンデンサを新たに開発した。

「従来のものでは電気自動車が稼働する際の高熱に耐えられず、別に冷却装置を取り付ける必要がありました。高耐熱コンデンサの活用で冷却装置が不要となり、コストを抑えることにも繋がります」。

既に国内外から多くの引き合いがあり、現在は年内の量産を視野に準備を進めている最中だ。

資本となる“人づくり”

自社で設備の設計から組立までの一貫生産を行い、事業と

ともに雇用を拡大しながら現在では364名の従業員を抱える会社だが、常に強い危機感を持ちながら競争力強化と人材育成に取り組んでいる。

「今後ますます人材確保が難しくなるので、省人化・省力化をすすめ、生産性を向上させていかななくてはなりません」。

生産状態を“見える化”し管理するためのIoTや、ロボットと画像処理装置を配した全自動組み立てラインの導入により、コスト競争力を強化。労働集約型から装置化にシフトすることで、生産に要する人員を相対的に減らしていき、研究開発に携わる技術スタッフの増強や育成に力を注ぐ。

「IIS(S(シムス)活動と称した“改善できる人づくり”の育成や、グローバルな事業展開を推進するための語学力の強化にも取り組んでいます」。

役職者や、業務上英語が必要とされる開発担当者は、業務の合間にオンラインの英会話講座を受講して語学力を高め、顧客である海外の自動車メーカーの視察やWeb会議には、資料の作成も含め通訳なしで対応する。指月グループでは、「挑戦する社風への変革」を長期経営ビジョンとして掲げ、常に視線を世界へ、未来へと向けている。

町とともに未来へ歩む

グローバルな視点を持つ一方で、秋田指月は社員一人一人を大切に、社会貢献にも尽力する。その一例が、羽後町の活気創出に貢献したいという思いから2006年に始めた社員への出産祝い金制度だ。

「第1子に10万円、第2子に20万円と、一人増えるごとに10万ずつアップします。第3、4子となる双子を出産した社員に70万円を贈ったときには新聞に掲載されました」。

もともと生産ラインに従事する女性が多かった歴史があり、男女の別なく雇用し、誰かが休んでも対応できる体制を当たり前のごとして整えてきたという同社は、育児休業取得後の復職率が高く女性管理職もいるなど、性別に関わらず活躍できる場でもある。設立当時に父母が勤務していたという社員も多く在籍し、羽後町と共に歩んできた同社の確かな歴史を感じさせる。

「“町にとってなくてはならない企業”と嬉しいお言葉をいただいたこともあります。今後も、時代の変化を的確に捉え、羽後町とともに、世界へ大きく躍進できる企業へと成長し続けたいと思っています」。

1 社内一角にあるギャラリーには多種多様な商品が飾られる。
2 自社一貫製造を支える開発チーム。

3 自動車産業進出のため、国際規格「ISO/TS16949」を取得。
4 フィルムコンデンサの元となる極薄のフィルムは製造機械から内製。